



9 月末、日南町内でも稲刈りのシーズンを迎えています。谷筋から峠の直下まで続く水田風景は、山陰ならではのものです。鉄穴（かんな）流しで山を削り、砂鉄を採り、土砂が豊かな水田を作り、地域に住む人の産業となる・・・こんな歴史を感じさせる風景が、日南町にも各地に残っています。

右の写真は、小さい水路で回る芋車です。中には剥き栗が入ってしまっていて、渋皮剥きをしています。水量がほんの何センチかしかないような所ですが、ちゃんとエネルギーを取り出して生活に役立っています。これも、豊かな日南の森林を水源としている、古くからの生活の知恵ですね。

日南町では、三吉地区において新石見小水力発電所を完成させました。老朽化した旧施設を改良したもので、発電出力 90kw の能力を持っています。日南町では、石見東太陽光発電所と併せて、町内の一般家庭のおよそ 50%が消費する電力を再生可能エネルギーで賄えるようになるとの事です。

日南町では、古くから自然の地形や資源を活かしたエネルギー活用が行われてきました。また、これらのエネルギーを使い、地域で暮らす住民の生活をより豊かなものにしてきました。いま、日南の山では森林という資源が活用の時を待っています。この資源をどう生かしていくのか、ここに住む私たちの取り組まなければならない一番の課題ではないかと、そう感じています。